

ひと
女ひと
男

男女が共に生きるメッセージ



パートナーシップ

問合せ先 企画課男女共同参画推進係 ☎72-2111内線222

言葉の中の「女」と「男」

私たちが日常生活で使っている言葉には、男性を中心としてきた社会構造や、固定的な性別役割分担意識を反映したものがああります。このような言葉の多くは、男女平等の意識が普及していなかった時代から言い習わされてきたものですが、相手の人権が尊重されていない表現もあります。私たちが何気なく使っている言葉が本当に適切なものか、考えてみませんか。

◆「奥さん」「家内」「主人」「亭主」「旦那」

「奥さん」や「家内」、「主人」などの呼び方は、女性が家の中にいるような印象や、男性を主、女性を従と捉えているような印象を受けます。「妻」「夫」など、対等な関係であることを表す表現が望ましいでしょう。

◆「女〇〇」「女子〇〇」

職業や地位などに、「女〇〇」「女子〇〇」のように、女性であることをわざわざ付け加えていることはありませんか？このように性別を強調すると、その職業や地位に就くのは男性が一般的で、女性は例外であるかのような印象を与えます。性別を明らかにする必要がないときには、「女〇〇」など性別を付け加えることはやめましょう。

女医	→	医師
女社長	→	社長
女流作家	→	作家
婦人警官	→	警察官
女子大生	→	大学生
女子アナ	→	アナウンサー

◆「女だてらに」「男顔負け」「男勝り」「女々しい」

「女だてらに」などの言葉は、女性が男性より劣っていることを前提としています。たとえ褒め言葉として使ったとしても、好ましくありません。



英語でも言い換えが進んでいます

「保護者」を表す際に使われていた「父兄」という言葉のように、性別を限定しない場合でも、男性を表す言葉が使われていることがあります。英語ではすでに、以下のような性別を限定しない表現が使用されています。

- ・ chairman チェアマン(司会者) → chairperson チェアパーソン
- ・ policeman ポリスマン(警察官) → police officer ポリス オフィサー
- ・ cameraman カメラマン(写真家) → photographer フォトグラファー
- ・ businessman ビジネスマン(実業家) → businessperson ビジネスパーソン

おごおり女性ホットライン

☎092-513-7337

月～金曜日／午前10時～午後5時

(祝日、12月29日～1月3日を除く)

配偶者や恋人からの暴力についての相談のほか、セクシュアル・ハラスメントや仕事、地域、家庭のことなどさまざまな悩みに専門の相談員が対応します。

配偶者や恋人からの
暴力に悩んでいませんか？
ひとりで悩まずに相談して
ください。



※ 4月25日から、「福岡県配偶者からの暴力相談電話」の番号と受付時間が変わりました

☎092-663-8724 月～金：午後5時～午前0時 土日祝日：午前9時～午前0時